

NOMURA

2011年3月期第1四半期  
決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2010年7月

本日はお忙しい中、2010年度 第一四半期決算のテレフォン・カンファレンスに御参加頂き、有難うございます。

CFOの仲田です。

どうぞ宜しくお願い致します。

それでは、決算説明資料にそって2011年3月期第1四半期の決算についてご説明いたします。

本資料は、米国会計基準による2011年3月期第1四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2010年7月30日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 目次

### プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P4)
- 2011年3月期第1四半期決算の概要(P5)
- 強固な財務基盤を維持(P6)
- 第1四半期の収益内訳 (P7)
- 営業部門(P8-9)
- アセット・マネジメント部門(P10-11)
- ホールセール部門(P12-15)
- セグメント「その他」(P16)
- 金融費用以外の費用(P17)

### Financial Supplement

- バランスシート関連データ(P19)
- バリューストック・アット・リスク(P20)
- 連結決算概要(P21)
- 連結損益(P22)
- 連結決算：主な収益の内訳(P23)
- 連結決算数値とセグメント数値間の調整：税前利益（損失）(P24)
- 営業部門関連データ(P25-29)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P30-31)
- ホールセール部門関連データ(P32-33)
- 人員数(P34)

## エグゼクティブ・サマリー

### 2011年3月期第1四半期のハイライト

- 第1四半期は、黒字継続。収益は2,598億円(前年同期比:△12.9%、前四半期比:△6.5%)、金融費用を除く費用は2,534億円、税前利益は65億円(前年同期比:△79.4%、前四半期比△77.4%)
- ホールセール部門は、収益1,086億円(前四半期比:△35.5%)
  - 欧州に端を発した金融市場の混乱により、市場全体の顧客アクティビティが低下
  - 当社は顧客への流動性供給に努め、顧客基盤、顧客フロー収益ともに拡大
  - 米国、アジア等、当社の中期的な成長を担う地域、分野への投資継続
- 営業部門の収益は、1,110億円(前四半期比: +16.2%)
  - 厳しいマーケット環境下、顧客ニーズを的確に捉え、投資信託・外国債券等を中心に資産純増
  - 口座数も順調に拡大
- アセット・マネジメント部門の収益は、181億円(前四半期比: +0.7%)
  - 投資信託で資金流入、海外での投資顧問ビジネスが伸びる
- 引き続き、強固な財務基盤を維持
  - 2010年6月末現在、Tier 1比率は16.9%、Tier 1コモン比率は16.8%と業界トップレベルの水準を維持

4

4ページを御覧ください。

最初に2011年3月期第1四半期決算のハイライトをご説明させていただきます。

金融費用を除く収益合計は2,598億円、税前利益は65億円、野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益は23億円となり、厳しい経営環境の中、黒字を継続いたしました。

この四半期は、欧州に端を発した金融市場の混乱により、同業他社でも収益が減少する中、当社のホールセール部門の収益も1,086億円となり、前四半期比で36%減少しました。

5月初旬のマーケットの急変による市場環境の悪化は、マーケット全体の顧客アクティビティを著しく低下させ、顧客への流動性供給のために保有していた在庫ポジションにも少なからぬ影響を与えました。しかし、当社は流動性の比較的高いプロダクトが中心であったことから、迅速に在庫残高及びリスク量を縮小させ、その影響を抑えることが出来ました。

そのような環境下でも、グローバルに顧客ビジネスを拡大するという基本戦略に基づき、厳しい状況の中でも、顧客へ適切なプライスを出し続けることにより、顧客基盤、顧客フローによる収益の拡大を着実に推し進めることが出来ました。

営業部門においても、今期は日経平均が15%下落する厳しい環境でしたが、収益1,110億円で前四半期比16%増となりました。

かねてより注力していますコンサルティング営業により、お客様のニーズにお応えした結果、投資信託、外国債券を中心に多くの新規資金導入をはかることが出来ました。

アセット・マネジメント部門でも、投資信託の資金流入、海外での投資顧問契約額が伸び、安定した収益を上げることが出来ました。

財務基盤につきましては、引き続き強固な基盤を維持しています。

## 2011年3月期第1四半期決算の概要

## 決算のポイント

2011年3月期 第1四半期

	2011年3月期 第1四半期	前四半期 (2010年3月期 第4四半期)	%	前年同期 (2010年3月期 第1四半期)	%
収益合計 (金融費用控除後)	2,598 億円	2,779 億円	Δ6.5%	2,984 億円	Δ12.9%
金融費用以外の費用	2,534 億円	2,493 億円	+1.6%	2,669 億円	Δ5.1%
税前利益	65億円	286 億円	Δ77.4%	314 億円	Δ79.4%
純利益 <sup>1</sup>	23 億円	184億円	Δ87.4%	114 億円	Δ79.7%
ROE <sup>2</sup>	0.4%	3.7%		3.0%	

(1) 野村ホールディングス株主に帰属する純利益

(2) 各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

## 強固な財務基盤を維持

### 自己資本比率

#### 各種財務指標

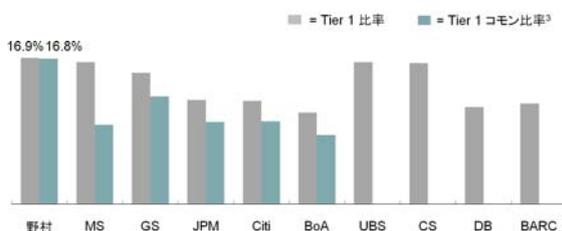
(バランスシート関連指標)

- 資産合計 33.9兆円
- 株主資本 2.1兆円
- グロス・レバレッジ 16.1倍  
調整後レバレッジ 10.1倍
- レベル3資産<sup>1</sup> 約0.8兆円  
(デリバティブ負債相殺後)
- 手元流動性 5.9兆円

(遠報値)	3月末	6月末
Tier 1	2,000	1,986
Tier 2	560	500
Tier 3	306	306
自己資本合計	2,806	2,733
リスク調整後資産	11,525	11,699
Tier 1 比率	17.3%	16.9%
Tier 1 コモン比率 <sup>3</sup>	17.3%	16.8%
自己資本比率	24.3%	23.3%

### 自己資本比率比較

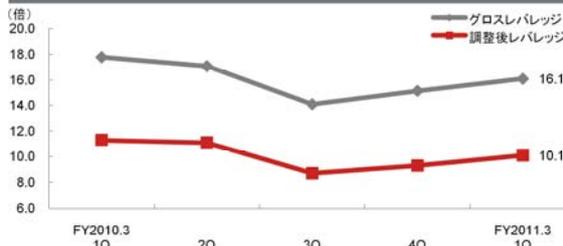
#### Tier 1 資本 / リスク調整後資産<sup>2</sup>



(1) レベル3資産の数値はレビュー前の暫定数値  
 (2) 6月末現在、但しBarclaysは3月末現在  
 (3) Tier 1 コモン比率: Tier 1 資本 - ハイブリッド資本 - 非支配持分

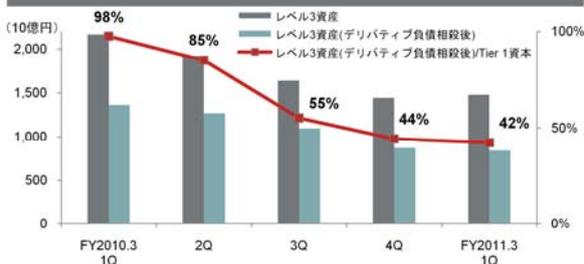
### レバレッジレシオ推移

#### グロスレバレッジおよび調整後レバレッジ



### レベル3資産

#### レベル3資産の推移と対Tier 1資本比率



\* 本ページで使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。 6

6ページを御覧ください。

6月末現在のTier1比率は16.9%、Tier1コモン比率は16.8%と左下のグラフにありますように、引き続き業界トップ・レベルの水準を維持しています。

B/Sの資産合計は33.9兆円、株主資本は2.1兆円、グロス・レバレッジは16.1倍、調整後レバレッジは10.1倍になりました。

レベル3資産は0.8兆円で、対Tier1資本比率で42%となり、継続して減少しています。

また本日、自己株式の取得について発表いたしました。

これは、ストック・オプション行使分に充当するため、2010年8月9日～9月17日の期間で上限7,500万株、500億円の自己株式を取得するものです。

## 第1四半期の収益内訳

	収益合計(金融費用控除後)			本四半期の地域別収益		
	2011年3月期 第1四半期	前四半期 (2010年3月期 第4四半期)	%	前年同期 (2010年3月期 第1四半期)	%	
営業部門	1,110億円	955億円	+16.2%	954億円	+16.3%	<p>海外 38% 国内 62%</p>
アセット・マネジメント部門	181億円	180億円	+0.7%	187億円	△2.8%	
ホールセール部門	1,086億円	1,684億円	△35.5%	2,117億円	△48.7%	
3セグメント合計	2,377億円	2,819億円	△15.7%	3,258億円	△27.0%	
その他 <sup>1</sup>	327億円	△94億円		△371億円		
営業目的で保有する投資 持分証券の評価損益	△106億円	54億円		97億円		
収益合計 (金融費用控除後)	2,598億円	2,779億円	△6.5%	2,984億円	△12.9%	

(1) 「その他」には、負債の時価評価益139億円を含む

7

7ページを御覧ください。

右のグラフは国内外の収益比率を表したものですが、今四半期は、国内で62%、海外で38%となっています。

それでは、各部門のビジネス・ハイライトについて御説明いたします。

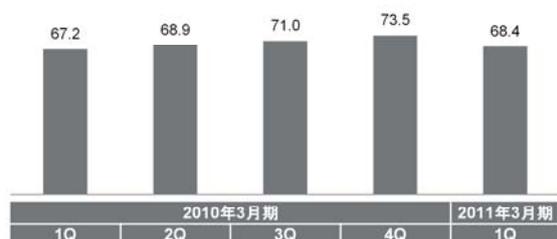
## 営業部門

## 収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2010年3月期				2011年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
収益合計(金融費用控除後)	95.4	93.2	104.3	95.5	111.0
金融費用以外の費用	67.5	66.8	69.1	71.5	73.2
税前利益	27.9	26.4	35.2	24.0	37.7

## 顧客資産残高

重要業績評価指標(KPI)  
(兆円)

## 第1四半期のポイント

- 収益: 1,110億円(前四半期比16.2%増、前年同期比16.3%増)
- 税前利益: 377億円(前四半期比57.4%増、前年同期比35.5%増)
- 資産の拡大
  - 資産純増 1兆2,895億円
  - 投信純増 4,381億円
- 顧客基盤
  - 預り資産 68.4兆円
  - 残あり顧客数 489.4万口座
- 主な投信販売額
  - 野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 7,089億円
  - 野村クラウドコンピューティング & スマートグリッド関連株投信 1,547億円
- その他の販売状況(1Q計)
  - IPO、PO 1,090億円
  - 外債販売額 4,110億円

8

8ページを御覧ください。

はじめに営業部門ですが、今期は収益1,110億円、税前利益377億円となりました。

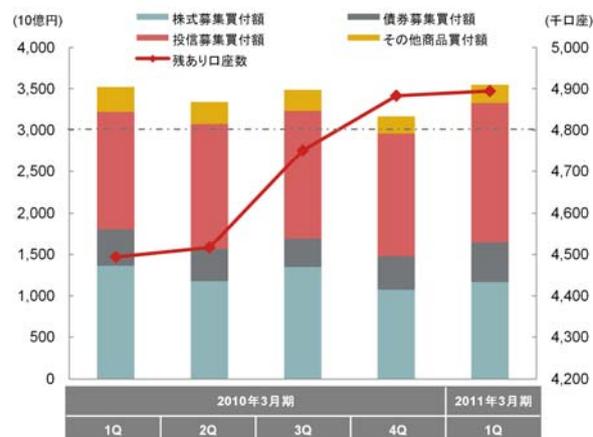
顧客資産残高は、日経平均の下落や為替が円高になった事により減少しましたが、新規資金は大幅に増えております。

## 営業部門：コンサルティング営業に注力し、新規資金が流入

資産純増<sup>1</sup>と投信純増<sup>2</sup>



総募集買付額



それ、野村にきいてみよう。

(1) 地域金融機関を除く  
(2) リテールチャネルのみ

次のページを御覧ください。

コンサルティング営業に注力し、お客様のニーズに的確に答える事で1兆2,895億円の新規資金の導入を行うことが出来ました。

中でも投資信託の資産純増は4,381億円となりました。

5月以降の円高局面では、お客様の関心が高まったことに対応する事で、外債販売が好調となりました。

右の図で御覧いただけますように、株式、債券、投資信託の全てにおいてバランスよく総募集買付額も伸びております。

また残高がある口座数は489万口座と引き続き伸びており、顧客基盤も順調に拡大しています。

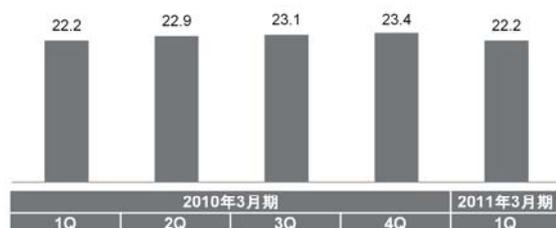
## アセット・マネジメント部門

### 収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	2010年3月期				2011年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
収益合計(金融費用控除後)	18.7	16.5	17.2	18.0	18.1
金融費用以外の費用	13.5	12.0	13.2	13.1	13.2
税前利益	5.1	4.5	4.1	4.9	4.9

### 運用資産残高

重要業績評価指標(KPI)  
(兆円)



### 決算のポイント

- 業績分析
  - 収益は181億円(前四半期比0.7%増、前年同期比2.8%減)
  - 税前利益は49億円(同0.2%減、同4.5%減)
- 6月末の運用資産残高は、マーケットの下落の影響で22.2兆円と、3月末の23.4兆円から約1.2兆円の減少
- 公募株式投信(除:ETF)の資金流入が約5,500億円と高水準
- 投資顧問では、海外顧客から日本株やアジア株、グローバル債券などで新規受託
- QFII制度に基づく中国証券市場(A株など)への投資枠(2億USD)を取得

次のページを御覧ください。

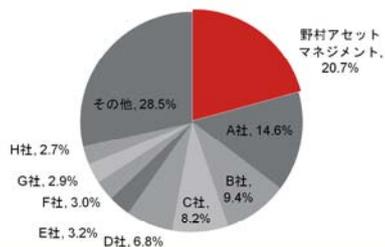
アセット・マネジメント部門では、181億円の収益、49億円の税前利益となりました。

運用資産残高は、マーケットの下落により減少していますが、ネットでの資金の流入は増えています。

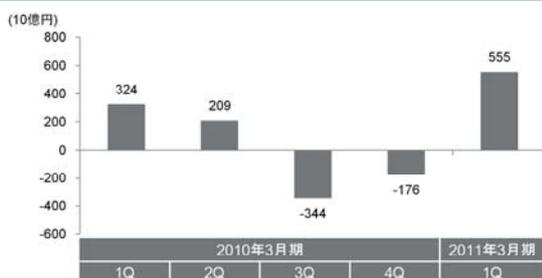
## アセット・マネジメント部門: 投信、投資顧問ビジネス共に堅調

### 投信ビジネスが収益を牽引

公募投信シェア(2010年6月末)<sup>1,2</sup>



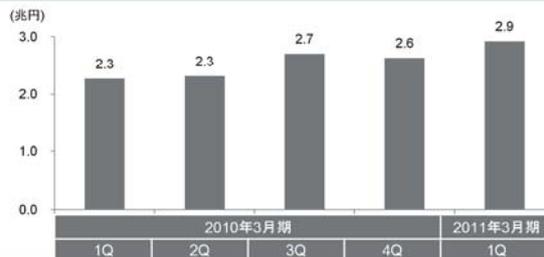
### 公募株式投信(除くETF)資金流出入<sup>1</sup>



(1) 野村アセットマネジメント単体  
(2) 投資信託協会資料から野村アセットマネジメント作成

### 海外投資顧問ビジネスも順調に拡大

投資顧問運用資産残高(海外)<sup>1</sup>



### 今期受賞アワード

#### R&I ファンド大賞2010

確定給付年金  
【バランス部門】バランス型(2:5:5)  
最優秀ファンド賞  
【国内REIT型】J-REITオープン  
【外国株式型】野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンドBコース  
優秀ファンド賞  
【外国REIT型】野村世界不動産投信(毎月分配型)  
を含め、5つの賞を受賞



#### Global Pensions Awards 2010

【Specialist equities manager】  
Nomura Asset Management UK



次のページを御覧ください。

左下のグラフにありますように、この四半期は5,550億円の資金が流入し、昨年度の全ての四半期よりも高いレベルの資金流入となりました。

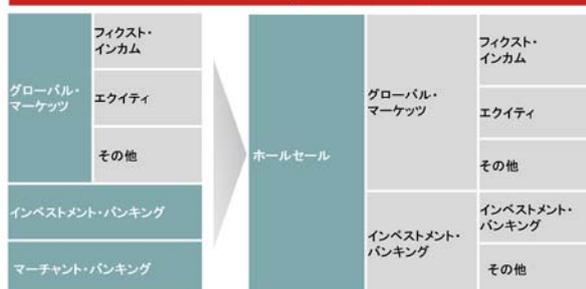
また海外の機関投資家からのマンドートも、日本株、アジア株、グローバル債券などを中心に順調に伸びています。

## ホールセール部門

### 収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)	2010年3月期				2011年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
収益合計(金融費用控除後)	211.7	199.3	210.1	168.4	108.6
金融費用以外の費用	158.5	161.1	161.6	133.2	149.8
税前利益(損失)	53.3	38.2	48.5	35.2	-41.1

### セグメント変更(2010年4月以降)



### 決算のポイント

- 収益: 1,086億円(前四半期比35.5%減、前年同期比48.7%減)
  - 税前損失: △411億円
  - グローバル・マーケット
    - 欧州に端を発した金融市場の混乱により、クレジットスプレッドの急拡大、市場ボラティリティの急上昇の影響を受け、減収
    - 顧客フロー中心のビジネス戦略の継続により、顧客フローからの収益は続伸
    - 東京証券取引所、ロンドン証券取引所に続き、韓国、台湾などの株式取引所シェアが上昇
  - インベストメント・バンキング
    - 季節的要因に加え市場環境の悪化により減収
    - 高プロファイル案件を引き続き獲得
- |   |         |
|---|---------|
| ECM: 東レ・PO (主幹事)  | 1,063億円 |
| ヤマハ発動機・PO (主幹事)   | 779億円   |
| DCM: 英国国債 (ジョイント・ブックランナー)   | 80億ポンド  |
| 韓国産業銀行 サムライ債 (ジョイント・リード・マネジャー)  | 270億円   |
| M&A: GrifolsによるTalecris買収のリード・ファイナンシャル・アドバイザー<br>および買収ファイナンスのジョイント・リード・アレンジャー兼<br>ジョイント・ブックランナー<br>損保ジャパンによるトルコのフィバシゴルタ社買収のアドバイザー<br>Carlsbergによる中国重慶ビール株式12.25%取得の単独アドバイザー |         |

次のページを御覧ください。

今期より、これまでのグローバル・マーケット部門、インベストメント・バンキング部門、マーチャント・バンキング部門を統合し、新しくホールセール部門としております。

今四半期は、金融市場の混乱の影響もあり、ホールセール部門の収益は1,086億円、411億円の税前損失となりました。

## ホールセール部門(グローバル・マーケット)

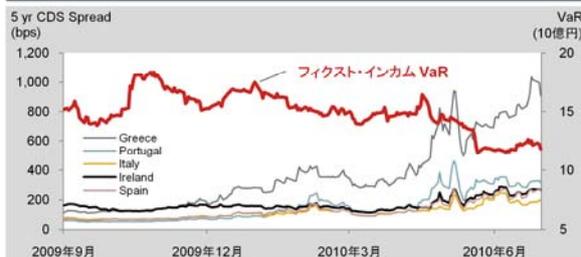
### 収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)

	2010年3月期				2011年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
フィクスト・インカム	105.4	76.6	70.5	55.6	41.0
エクイティ	92.8	93.4	90.1	76.5	46.3
その他	-11.1	4.6	3.2	0.9	9.2
収益合計(金融費用控除後)	187.1	174.5	163.9	133.0	96.4
金融費用以外の費用	124.9	127.8	130.8	103.0	122.8
税前利益(損失)	62.3	46.7	33.1	30.0	-26.3

### マーケットの急変を受け、リスク量を迅速に縮小

#### GIIPS各国のCDSスプレッドと当社フィクスト・インカムのVaR



#### VIX<sup>1)</sup>と当社エクイティのVaR



### 顧客基盤の拡大

(2010年3月期第1四半期を100として指数化)



(1) VIX=Volatility Index, シカゴオプション取引所(CBOE)がS&P500を対象とするオプション取引のボラティリティを元に算出、公表している指数。出所:ブルームバーグ  
 (2) 各四半期において取引実績のある顧客数を集計

次のページを御覧ください。

グローバル・マーケットの収益は964億円となりました。

右側の2つのグラフは、マーケットの変動の状況と当社のリスク量の変化を債券、株式の各々のプロダクトで示していますが、クレジット・スプレッドの急上昇、ボラティリティの急拡大に迅速に対応いたしました。

左の図のアクティブ・クライアントの数は、今四半期も順調に伸び、顧客フローからの収益も増加しております。

厳しいマーケット状況でしたが、お客様への流動性供給に努めた結果、基本戦略であるグローバルでの顧客ビジネスの拡大を着実に進める事ができました。

## ホールセール部門(インベストメント・バンキング)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失					
(10億円)	2010年3月期				2011年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
インベストメント・バンキング(グロス)	38.0	33.2	81.7	43.3	29.0
その他部門等へのアロケーション	12.3	12.2	37.2	15.4	13.2
インベストメント・バンキング(ネット)	25.7	20.9	44.5	27.8	15.8
その他	-1.1	3.9	1.8	7.6	-3.6
収益合計(金融費用控除後)	24.6	24.8	46.2	35.5	12.2
金融費用以外の費用	33.6	33.3	30.8	30.2	27.0
税前利益(損失)	-9.0	-8.5	15.4	5.2	-14.8

リーグテーブル <sup>1)</sup>			
グローバルECM		グローバルM&A	
2009年	2010年 1-6月	2009年	2010年 1-6月
9位	9位 (10位)	15位	16位 (24位)

(注)2010年7月29日時点のグローバルECMランクは9位、グローバルM&Aランクは13位

アワード	クロスボーダー案件		
<b>Thomson Reuters DealWatch</b> ■ House of the Year (日本) ■ Equity House of the Year (日本) <b>Euromoney</b> ■ Best M&A House in Korea <b>Global Finance</b> ■ Best Debt Bank in Asia ■ Best Investment Bank in Japan <b>Finance Asia</b> ■ Best Investment Bank (日本) ■ Best Equity House (日本)	<b>China Investment Corporation</b> リード・ファイナンシャル・アドバイザー <ul style="list-style-type: none"> <li>カナダのベンウエスト社がアルバータ州北部の油砂開発のために新設したJVにCIC社が45%の株式を取得</li> <li>ベンウエスト社の株式5%をプライベート・プレースメントにより取得</li> </ul> CAD817mm CAD435mm 2010年5月	<b>Grifols</b> リード・ファイナンシャル・アドバイザー ジョイント・リード・アレンジャー ジョイント・ブックランナー <ul style="list-style-type: none"> <li>スペイン製薬会社グリフォルス社による米国の製薬会社タレクリスの買収</li> <li>グリフォルス社のアドバイザーを務めるとともに、買収ファイナンスもアレンジ</li> </ul> US\$4,000mm US\$4,500mm 2010年6月	<b>Carlsberg</b> ファイナンシャル・アドバイザー <ul style="list-style-type: none"> <li>デンマークのカルスバーグ社による中国重慶ビール社の株式12.25%取得</li> </ul> RMB2,385mm 2010年6月

(1) 出所: トムソン・ロイター

14

次のページを御覧ください。

インベストメント・バンキングでは、市場環境悪化の影響で今四半期に予定されていた案件の一部が延期される等により、グロスでの収益は290億円となりました。

国内では、引き続き各プロダクトにおいてトップのマーケットシェアを維持している上、海外でもクロスボーダー案件中心にハイ・プロファイルなディールを行うことができています。

スペインの製薬会社グリフォルスによる、米国製薬会社タレクリスの総額\$40億の買収案件のアドバイザーとなりましたが、これは2008年秋の金融危機以降で最大のLBO案件であると同時に、当社では初めてのクロス・アトランティックでのM&A案件であります。

7月に入っては、国内では国際石油開発帝石の5,200億円の公募引き受けに加え、パナソニックによるパナソニック電工と三洋電機の完全子会社化のパナソニック側のファイナンシャル・アドバイザーを務めました。

海外では欧州のプライベート・エクイティ・ファンドであるPermiraによるイタリア冷凍食品会社Findusの総額8億ユーロの買収案件のアドバイザーとして指名されました。

それらを加えると、現時点ではグローバル・リーグ・テーブルでECM9位、M&A13位となります。

次に当社にとって中期的成長が期待される地域として米国とアジアの状況をご説明します。

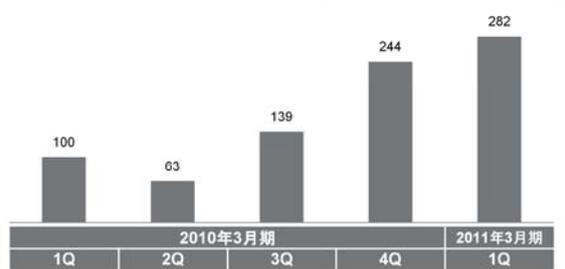
## ホールセール部門：中期的に成長が期待される米国・アジアの進捗

### 米国

- 顧客基盤は順調に拡大
  - デリバティブ取引に必要なISDA口座開設<sup>1)</sup>は、前四半期比35%増加
- 経験豊富な人材が、業界他社より入社。米国の人員数<sup>2)</sup>は、726人(2009年6月)→1,455人(2010年6月)へ増加
  - インスティテューショナル・インベスター誌の上位ランキングアナリストを含め、8名採用(金融、TMT、小売/消費等のセクター)
  - インベストメント・バンキング部門でも、シニア・バンカーを採用
- 米国プラットフォームへの投資を継続

#### 顧客フローからの収益

(2010年3月期第1四半期を100として指数化)



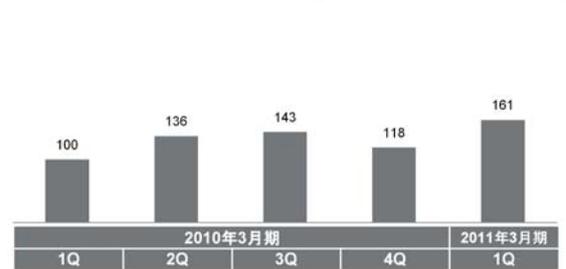
(1) リーマン統合後、新たにISDA口座開設をした重点対象顧客数を集計  
 (2) Instinet, NOMURA ASSET MANAGEMENT U.S.A. INC.を除く

### アジア

- プラットフォームの拡大
  - インドでNon-Banking Financial Companyが開業(4月30日)
  - 韓国拠点の現地法人化(5月28日)
  - ラブアン(マレーシア)にオフショア銀行設立(7月19日)
  - イスラム金融市場での資金調達
- 顧客基盤は順調に拡大
  - デリバティブ取引に必要なISDA口座開設<sup>1)</sup>は、前四半期比38%増加
- 市場での認知度の上昇
  - ファイナンス・アジア誌で、“Best FX Structured Product Award”受賞
  - インスティテューショナル・インベスター誌で、アジア・エクイティ・リサーチ部門が2位、中国調査部門が1位を受賞

#### 顧客フローからの収益

(2010年3月期第1四半期を100として指数化)



次のページを御覧ください。

米国では、顧客基盤が着実に拡大すると共に、その結果顧客フローの収益も順調に増加しています。

米国の人員は、6月末現在1,455人で前年同期に比べ729人増えています。

リサーチでは、金融、小売、テレコム/メディア等の分野で、インスティテューショナル・インベスター誌でランキング入りをしているアナリストを採用し、インベストメント・バンキングでも、実績のあるシニア・バンカーを採用いたしました。

アジアにおいても、オンショアのプラットフォームの構築が進み、顧客基盤、顧客フローからの収益も着実に伸びています。

今期は、資金調達の多様化の一環としてイスラム金融での資金調達をマレーシア、中東で初めて行いました。

また、インスティテューショナル・インベスター誌においてアジア株式リサーチが2位、中国リサーチ・チームが1位にランクされ、欧州の2位、日本の1位と合わせ、グローバルで機関投資家からトップ・ティアのリサーチ・ハウスとして評価されています。

# セグメント「その他」

税前利益(損失)



業績分析  
 - 第1四半期の税前利益は156億円  
 - 負債の時価評価益139億円を、「その他」に計上

\* 3部門に含まれないその他のビジネス(野村信託銀行等)は「その他」に含まれます。  
 (1)2009年3月期において、アセット・マネジメント部門の確定拠出年金ビジネスを「その他」のビジネスに統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門と「その他」の損益を過去に遡り組み替えております。  
 (2)SFAS160の適用により、非支配持分に帰属する当期純利益(損失)を控除する前の損益を当期純利益(損失)として表示しております。当期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示しております。  
 (3)従来「経済的ヘッジ取引に関連するトレーディング損益」を区分して表示しておりましたが、2010年3月期第4四半期より「経済的ヘッジ取引に関連する損益」に改め、従来「その他」に含めておりましたトレーディング損益以外の関連損益もあわせて表示しております。なお、従来「経済的ヘッジ取引に関連するトレーディング損益」に含まれておりました一部の仕組債にかかる自社クレジットの変動による損益を「その他」に振り替えて表示しております。当期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示しております。

次のページではセグメント「その他」を示しています。  
 今四半期の負債の時価評価益は139億円で、「その他」に含まれています。  
 また、セグメント情報には含まれておりませんが、有価証券評価損は106億円となりました。

## 金融費用以外の費用



- 第1四半期の金融費用以外の費用は2,534億円(前四半期比1.6%増)
- グローバルで顧客フロービジネス(特に株式委託売買取引)が増加したことにより、支払手数料が増加(237億円、前四半期比10.4%増)
- 米国でのビジネス拡大およびグローバルでの基盤強化に伴い人件費が増加(1,221億円、前四半期比5.9%増)
- 情報・通信関連費用が減少(443億円、前四半期比7.0%減)

最後にコストについてご説明します。

次のページを御覧ください。

当社のコストは2009年3月期をピークに減少してきております。

今四半期は前四半期比で1.6%の増加となりましたが、前年同期比では5%減少しています。

米国でのビジネス拡大及びグローバルでの基盤強化に伴い、人件費は前四半期比で増加しました。

今四半期の人件費合計の収益に占める比率は47%であります。

人件費以外のコストにおいては、グローバルで顧客フロービジネスが伸びたことにより支払手数料が増加した一方で、昨年度より取り組んでおりますコスト削減により情報通信関連費用、事業促進費用等が減少し、全体では微増におさえることができました。

今後も、中期的成長分野への投資は引き続き進めつつ、徹底したコスト管理を行ってまいります。

## Financial Supplement

---

今四半期は厳しい市場環境でしたが、今後も景気動向、規制環境を注視していく必要はあると考えています。

しかし、継続的に顧客への流動性の供給を行うことで、顧客ビジネスの増加による収益基盤の拡大を目指すという、当社の基本戦略には変わるところはありません。

今後も、グローバル・トップティアの投資銀行を目指し、努力してまいります。有難うございました。

## バランスシート関連データ

### 連結貸借対照表

(単位：10億円)

	2010年 3月末	2010年 6月末	前期比増減		2010年 3月末	2010年 6月末	前期比増減
資産				負債			
現金・預金	1,352	1,048	-304	短期借入	1,302	1,822	520
貸付金および受取債権	2,072	1,972	-100	支払債務および受入預金	1,528	1,462	-67
担保付契約	12,467	12,762	295	担保付調達	11,216	12,290	1,073
トレーディング資産および プライベート・エクイティ投資*	14,700	16,402	1,702	トレーディング負債	8,357	8,143	-214
その他の資産	1,639	1,751	112	その他の負債	495	364	-141
資産合計	32,230	33,935	1,705	長期借入	7,199	7,753	554
				負債合計	30,097	31,823	1,726
				資本			
				野村ホールディングス株主資本合計	2,127	2,102	-25
				非支配持分	6	10	4
				負債および資本合計	32,230	33,935	1,705

\*担保差入有価証券を含む

## バリュー・アット・リスク

### ■ VaRの前提

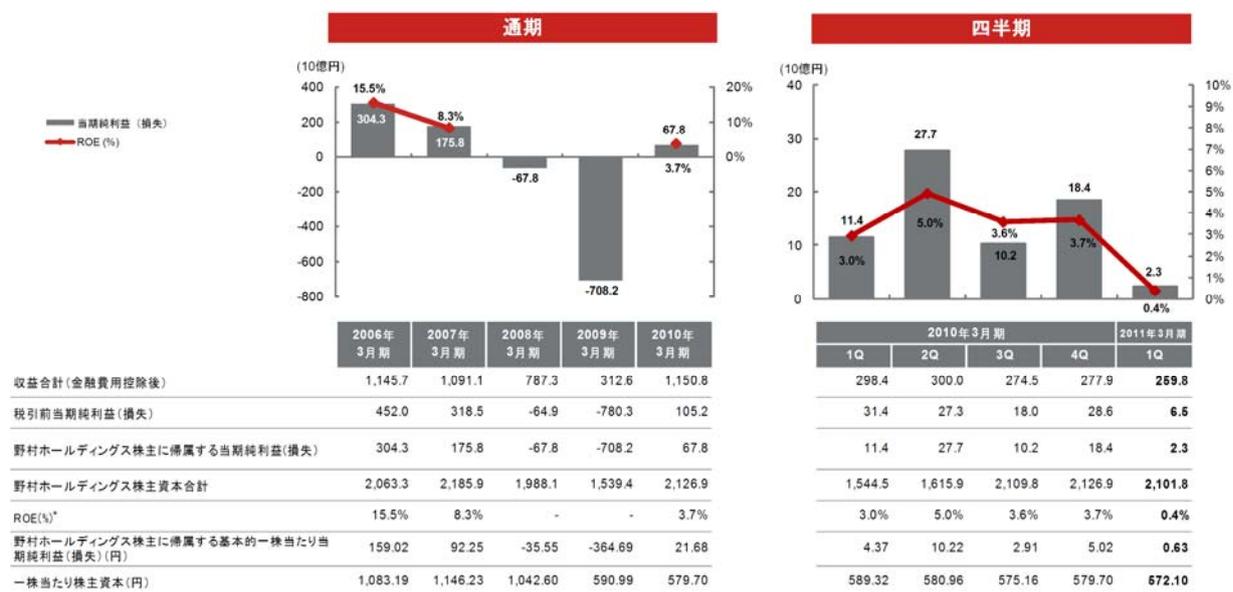
- 信頼水準: 片側検定99% (2.33標準偏差)
- 保有期間: 1日
- 商品間の価格変動の相関を考慮

### ■ VaRの実績 (単位: 10億円)

- 期間: 10.4.1~10.6.30
- 最大: 13.6
- 最小: 9.4
- 平均: 11.3

(10億円)	2006年 3月末	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2010年 6月末
株式関連	6.0	4.7	4.2	3.8	2.6	<b>2.0</b>
金利関連	3.3	3.7	4.7	6.7	4.4	<b>4.2</b>
為替関連	1.4	1.4	8.0	8.7	10.5	<b>7.6</b>
小計	10.7	9.8	16.9	19.2	17.5	<b>13.8</b>
分散効果	-3.7	-3.6	-6.8	-7.5	-5.0	<b>-4.4</b>
<b>連結VaR</b>	<b>7.0</b>	<b>6.2</b>	<b>10.1</b>	<b>11.7</b>	<b>12.6</b>	<b>9.4</b>

## 連結決算概要



\* 各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出  
 (1) 従来の当期純利益(損失)を野村ホールディングスに帰属する当期純利益(損失)として表示しております。

## 連結損益

(単位:10億円)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期				2011年3月期
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
収益										
委託・投信募集手数料	356.3	337.5	404.7	306.8	395.1	102.0	95.4	101.0	96.6	118.1
投資銀行業務手数料	108.8	99.3	85.1	55.0	121.3	29.7	15.6	44.5	31.4	20.4
アセットマネジメント業務手数料	102.7	146.0	189.7	140.2	132.2	30.3	34.0	34.2	33.7	34.9
トレーディング損益	304.2	290.0	61.7	-128.3	417.4	121.1	148.5	66.5	81.3	60.0
プライベート・エクイティ投資関連損益	12.3	47.6	76.5	-54.8	11.9	-2.1	2.0	2.3	9.7	-0.9
金融収益	693.8	981.3	796.5	331.4	235.3	58.4	53.6	67.4	55.9	75.8
投資持分証券関連損益	67.7	-20.1	-48.7	-25.5	6.0	9.8	-2.3	-3.8	2.4	-10.3
プライベート・エクイティ投資先企業売上高	88.2	100.1	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	58.8	67.4	28.2	39.9	37.5	14.3	8.7	9.4	5.2	16.3
収益合計	1,792.8	2,049.1	1,593.7	664.5	1,356.8	363.6	355.5	321.6	316.1	314.0
金融費用	647.2	958.0	806.5	351.9	205.9	65.2	55.4	47.1	38.2	54.2
収益合計(金融費用控除後)	1,145.7	1,091.1	787.3	312.6	1,150.8	298.4	300.0	274.5	277.9	259.8
金融費用以外の費用	693.7	772.6	852.2	1,092.9	1,045.6	266.9	272.7	256.6	249.3	253.4
税引前当期純利益(損失)(継続事業)	452.0	318.5	-64.9	-780.3	105.2	31.4	27.3	18.0	28.6	6.5
税引前当期純利益(非継続事業)	99.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益(損失)	551.4	318.5	-64.9	-780.3	105.2	31.4	27.3	18.0	28.6	6.5
野村ホールディングス株主に帰属する 当期純利益(損失)(継続事業)	256.6	175.8	-67.8	-708.2	67.8	11.4	27.7	10.2	18.4	2.3
野村ホールディングス株主に帰属する 当期純利益(非継続事業)	47.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益(損失)	304.3	175.8	-67.8	-708.2	67.8	11.4	27.7	10.2	18.4	2.3

注:当期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示しております。

## 連結決算：主な収益の内訳

(単位：10億円)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期				2011年3月期	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
委託・投信 募集手数料	株式委託手数料(営業)	153.6	98.3	75.1	50.8	55.3	15.8	14.7	12.3	12.5	13.7
	株式委託手数料(その他)	79.5	73.2	166.6	144.7	140.3	39.2	34.5	33.7	33.0	40.3
	その他委託手数料	14.3	6.8	9.3	7.9	8.0	2.9	-0.0	2.6	2.6	2.2
	投信募集手数料	85.1	120.5	121.2	75.9	165.9	39.5	41.3	43.6	41.5	56.7
	その他	23.8	38.6	32.4	27.5	25.5	4.7	5.0	8.8	7.0	6.2
	合計	356.3	337.5	404.7	306.8	395.1	102.0	95.4	101.1	96.6	118.1
投資銀行 業務手数料	株式	57.3	56.6	32.1	13.2	74.9	17.1	7.7	30.4	19.6	8.1
	債券	21.2	15.3	13.4	11.9	16.6	3.8	2.9	6.5	3.5	6.0
	M&A・財務コンサルティングフィー	30.3	26.7	37.8	26.7	29.2	8.6	4.9	7.6	8.2	6.2
	その他	0.1	0.7	1.8	3.1	0.5	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1
	合計	108.8	99.3	85.1	55.0	121.3	29.7	15.6	44.5	31.4	20.4
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	68.5	106.3	150.3	104.1	97.6	22.0	26.0	25.5	24.1	25.1
	アセット残高報酬	20.6	24.0	21.7	21.3	19.4	4.5	4.6	4.8	5.4	5.7
	カスタディアルフィー	13.6	15.7	17.7	14.7	15.3	3.8	3.4	4.0	4.1	4.0
	合計	102.7	146.0	189.7	140.2	132.2	30.3	34.0	34.2	33.7	34.9

## 連結決算数値とセグメント数値間の調整：税前利益(損失)

(単位:10億円)	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2010年3月期				2011年3月期	
	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
営業部門	197.2	160.9	122.3	18.2	113.4	27.9	26.4	35.2	24.0	37.7	
アセット・マネジメント部門	23.8	39.4	34.0	7.4	18.6	5.1	4.5	4.1	4.9	4.9	
ホールセール部門	264.7	156.0	-150.1	-717.3	175.2	53.3	38.2	48.5	35.2	-41.1	
3セグメント合計税前利益(損失)	485.7	356.3	6.2	-691.7	307.1	86.3	69.0	87.8	64.1	1.5	
その他	-33.1	21.0	-20.9	-65.4	-211.3	-64.6	-39.9	-65.9	-40.9	15.6	
セグメント合計税前利益(損失)	452.6	377.3	-14.7	-757.1	95.8	21.7	29.1	21.8	23.2	17.1	
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	59.3	-38.2	-50.2	-23.1	9.4	9.7	-1.8	-3.9	5.4	-10.6	
プライベート・エクイティ投資先企業等の 連結/連結除外等による影響	-59.9	-21.5	-	-	-	-	-	-	-	-	
米国会計基準	継続事業	452.0	318.5	-64.9	-780.3	105.2	31.4	27.3	18.0	28.6	6.5
	非継続事業	99.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	税引前当期純利益(損失)	551.4	318.5	-64.9	-780.3	105.2	31.4	27.3	18.0	28.6	6.5

- (1) 投資有価証券の利益(損失)、関連会社利益(損失)の持分額、長期性資産の減損、本社勘定、その他の財務調整項目等は、事業別セグメント情報においては「その他」として表示されています。また営業目的で保有する投資持分証券の評価損益と、プライベート・エクイティ投資先企業等の連結/連結除外等による影響はセグメント情報には含まれておりません。
- (2) 当期の表示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示しております。
- (3) 2006年1月より、その他の一部ビジネスをアセット・マネジメント部門に統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。
- (4) 2009年3月期第2四半期において、アセット・マネジメント部門の確定拠出年金ビジネスをその他のビジネスに統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門とその他の損益を過去に遡り組み替えております。

## 営業部門関連データ(1)

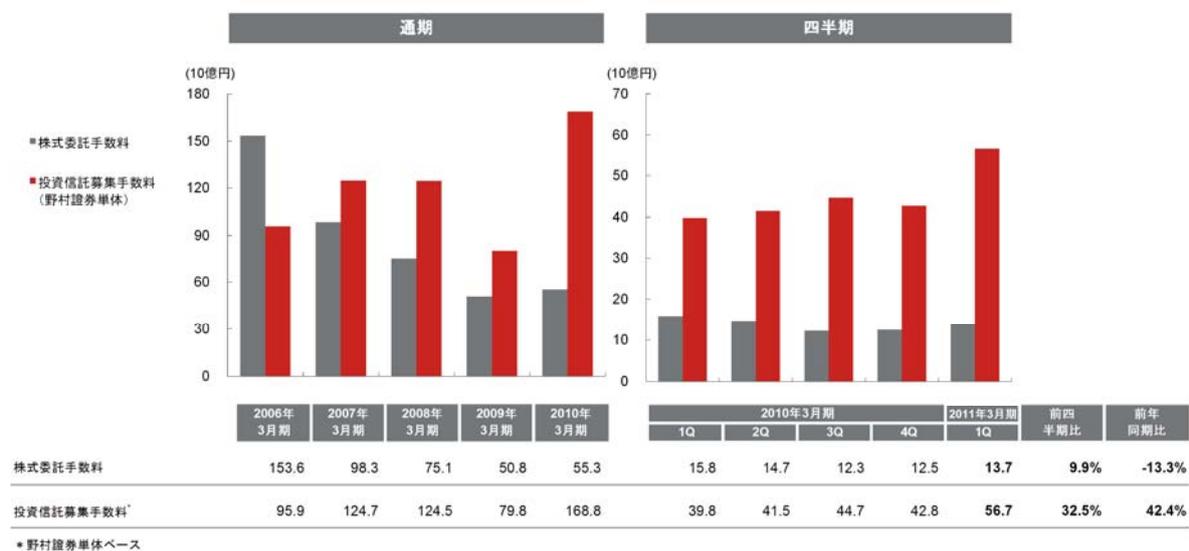
(単位:10億円)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期				2011年3月期 1Q	前四 半期比	前年 同期比
						1Q	2Q	3Q	4Q			
委託・投信募集手数料	269.4	251.4	225.9	151.0	238.9	55.9	59.8	62.3	61.0	75.6	24.1%	35.4%
販売報酬	109.0	96.8	94.2	71.4	63.8	20.0	15.5	13.3	15.0	12.8	-14.3%	-35.8%
投資銀行業務手数料	26.4	24.0	14.9	13.4	33.6	7.2	5.1	15.1	6.1	9.4	53.0%	30.3%
投資信託残高報酬等	34.4	47.5	59.7	50.9	47.3	11.1	11.8	12.1	12.3	12.1	-1.7%	8.2%
純金融収益等	7.4	20.4	7.3	5.2	4.7	1.2	0.9	1.5	1.1	1.0	-6.3%	-10.8%
収益合計(金融費用控除後)	446.5	440.1	402.0	291.9	388.3	95.4	93.2	104.3	95.5	111.0	16.2%	16.3%
金融費用以外の費用	249.3	279.3	279.7	273.6	274.9	67.5	66.8	69.1	71.5	73.2	2.4%	8.4%
税前利益	197.2	160.9	122.3	18.2	113.4	27.9	26.4	35.2	24.0	37.7	57.4%	35.5%
国内投信販売金額*(単位:10億円)			9,846.9	6,825.1	9,713.2	2,327.2	2,446.8	2,438.2	2,501.0	2,797.9	11.9%	20.2%
公社債投信			3,681.8	2,731.6	2,380.1	624.0	593.3	544.8	618.1	697.2	12.8%	11.7%
株式投信			4,816.1	2,969.3	6,165.7	1,425.0	1,595.4	1,602.7	1,542.6	1,729.1	12.1%	21.3%
外国投信			1,349.0	1,124.2	1,167.4	278.3	258.0	290.7	340.4	371.6	9.2%	33.6%
その他(単位:10億円)												
年金保険契約累計額(期末)	683.3	990.4	1,205.3	1,413.3	1,609.2	1,462.5	1,507.0	1,542.5	1,609.2	1,633.3	1.5%	11.7%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	747.8	615.2	292.3	109.6	22.2	8.1	7.0	4.7	2.5	4.9	94.8%	-39.9%
リテール外債販売額	1,119.2	677.1	954.0	867.4	1,080.3	288.4	252.6	215.3	323.9	411.0	26.9%	42.5%

\*野村證券単体ベース

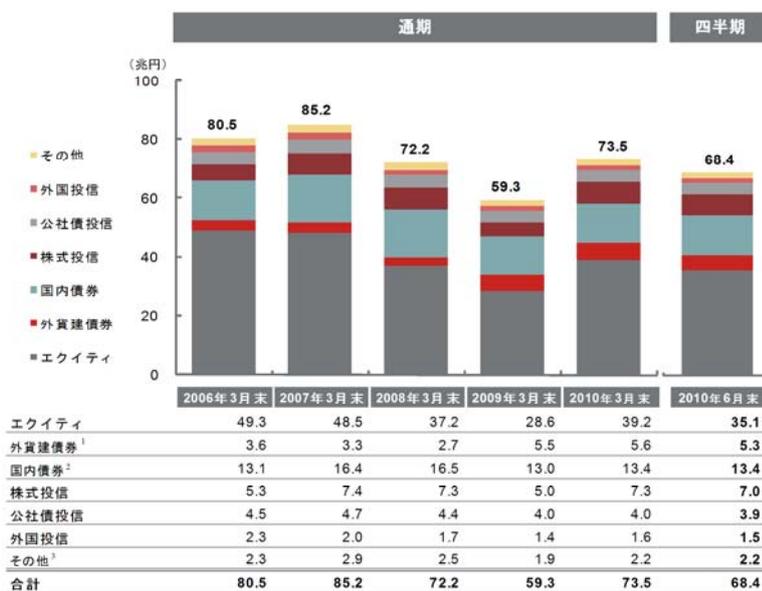
## 営業部門関連データ(2)

### 株式委託手数料と投資信託募集手数料\*



## 営業部門関連データ(3)

### 営業部門顧客資産残高



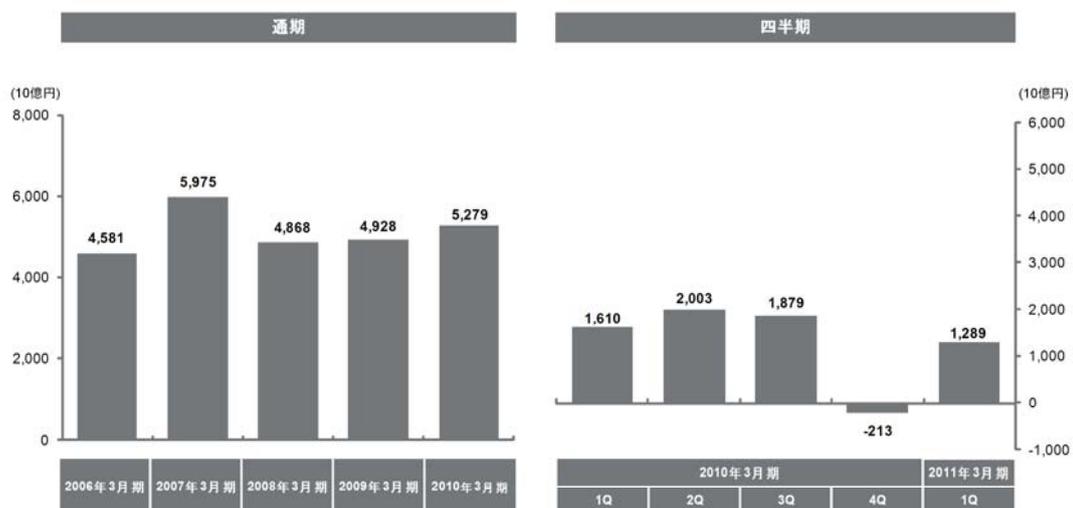
(1) 2009年3月期第3四半期よりユーロ円債の区分を国内債券から外貨建債券へと変更しました。

(2) CB・ワラントを含む

(3) 年金保険契約資産残高を含む

## 営業部門関連データ(4)

### 営業部門顧客資産純増<sup>1</sup>



(1) 地域金融機関分を除く

注: 資産純増 = 資産流入額 - 資産流出額

## 営業部門関連データ(5)

口座数・IT比率<sup>1)</sup>

	(単位:千口座)					
	2006年 3月末	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2010年 6月末
残あり顧客口座数	3,780	3,953	4,165	4,467	4,883	<b>4,894</b>
株式保有口座数	1,745	1,853	2,027	2,347	2,572	<b>2,600</b>
ホームトレード口座数	1,969	2,243	2,765	3,095	3,189	<b>3,235</b>

	通期					四半期				
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期				2011年3月期 1Q
						1Q	2Q	3Q	4Q	
個人新規開設口座数 (単位:千)	343	417	580	608	336	65	71	74	126	<b>93</b>
IT比率*										
売買件数ベース	55%	55%	57%	59%	58%	61%	60%	56%	55%	<b>57%</b>
売買金額ベース	27%	27%	29%	29%	29%	31%	29%	26%	28%	<b>30%</b>

(1) IT比率は現物株と株式ミニ投資の合計においてホームトレードとテレフォンアンサーで売買された割合

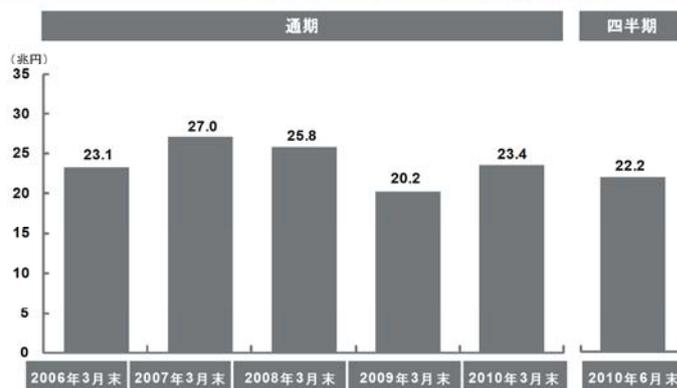
## アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(単位:10億円)	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2010年3月期				2010年3月期	前四 半期比	前年 同期比
	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益合計(金融費用控除後)	64.1	88.1	88.7	59.8	70.4	18.7	16.5	17.2	18.0	18.1	0.7%	-2.8%
金融費用以外の費用	40.3	48.7	54.8	52.4	51.8	13.5	12.0	13.2	13.1	13.2	1.0%	-2.2%
税前利益	23.8	39.4	34.0	7.4	18.6	5.1	4.5	4.1	4.9	4.9	-0.2%	-4.5%

(1) 2006年1月より、「その他」の一部ビジネスをアセット・マネジメント部門に統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。

(2) 2009年3月期第2四半期において、アセット・マネジメント部門の確定拠出年金ビジネスを「その他」のビジネスに統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。

### アセット・マネジメント部門 運用資産残高



- (1) 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・アセット・マネジメント・ドイチェランド、ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー・アメリカ、プライベート・エクイティ・ファンド・リサーチ・アンド・インベストメンツの各運用資産の合計。グループ運用会社間の重複資産調整後。2006年3月末までの数値については、野村ブラックロック・アセット・マネジメントの運用資産を含む。
- (2) ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー・アメリカの数値については、2010年5月末値にて算出

## アセット・マネジメント部門関連データ(2)

### 野村アセットマネジメント単体 運用資産残高



### 国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア

(単位: 兆円)

	2006年 3月末	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2010年 6月末
国内公募株式投信残高						
マーケット	45.0	59.4	57.7	40.4	52.6	48.6
野村アセットマネジメントシェア(%)	15%	18%	17%	16%	15%	16%
国内公募公社債投信残高						
マーケット	13.5	13.2	12.0	11.1	11.1	10.8
野村アセットマネジメントシェア(%)	42%	44%	44%	43%	43%	43%

(出所) 投資信託協会

### 野村アセットマネジメント単体 投資信託資金流入

(単位: 兆円)

	通期					四半期				
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期				2011年1月期
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
公募株式投資	1.0	3.8	2.0	0.0	-0.2	0.2	0.3	-0.5	-0.1	0.5
除くETF	1.4	3.7	1.8	-0.4	0.0	0.3	0.2	-0.3	-0.2	0.6
公募公社債投資	0.0	0.2	-0.5	-0.5	-0.0	-0.0	0.1	-0.1	-0.0	-0.2
私募投資	0.5	0.7	0.2	0.1	-0.2	-0.1	-0.1	0.0	-0.1	-0.0
資金流入計	1.5	4.6	1.7	-0.4	-0.4	0.1	0.3	-0.6	-0.2	0.3

## ホールセール部門関連データ(1)

## ホールセール部門

(単位:10億円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期				2011年3月期 1Q	前四 半期比	前年 同期比
			1Q	2Q	3Q	4Q			
グローバル・マーケット	-157.3	658.4	187.1	174.5	163.9	133.0	96.4	-27.5%	-48.5%
インベストメント・バンキング	-6.4	131.1	24.6	24.8	46.2	35.5	12.2	-65.6%	-50.5%
収益合計(金融費用控除後)	-163.6	789.5	211.7	199.3	210.1	168.4	108.6	-35.5%	-48.7%
金融費用以外の費用	553.7	614.3	158.5	161.1	161.6	133.2	149.8	12.4%	-5.5%
税前利益/損失	-717.3	175.2	53.3	38.2	48.5	35.2	-41.1	-	-

## グローバル・マーケット

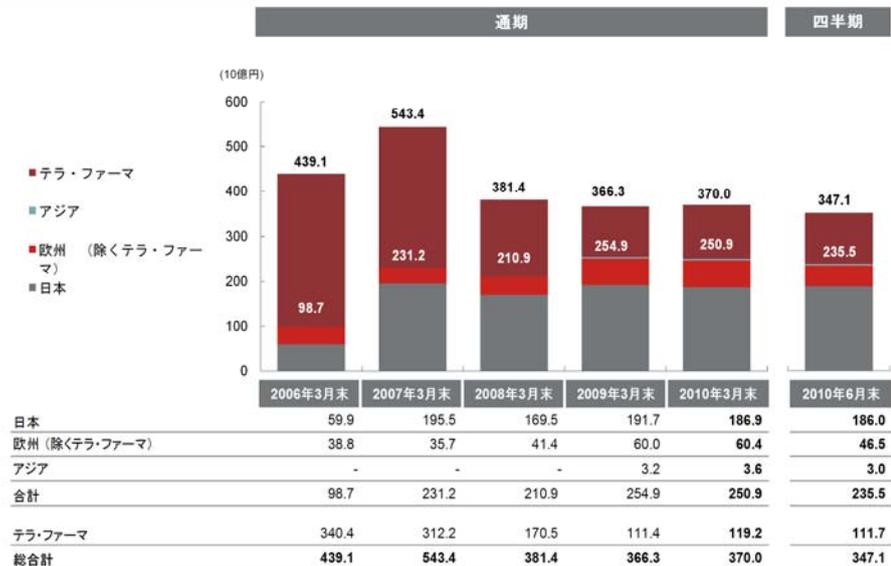
(単位:10億円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期				2011年3月期 1Q	前四 半期比	前年 同期比
			1Q	2Q	3Q	4Q			
フィクスト・インカム	-217.2	308.0	105.4	76.6	70.5	55.6	41.0	-26.3%	-61.1%
エクイティ	98.9	352.8	92.8	93.4	90.1	76.5	46.3	-39.5%	-50.1%
その他	-38.9	-2.4	-11.1	4.6	3.2	0.9	9.2	931.4%	-
収益合計(金融費用控除後)	-157.3	658.4	187.1	174.5	163.9	133.0	96.4	-27.5%	-48.6%
金融費用以外の費用	417.4	486.4	124.9	127.8	130.8	103.0	122.8	19.2%	-1.7%
税前利益/損失	-574.6	172.0	62.3	46.7	33.1	30.0	-26.3	-	-

## インベストメント・バンキング

(単位:10億円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期				2011年3月期 1Q	前四 半期比	前年 同期比
			1Q	2Q	3Q	4Q			
インベストメント・バンキング(グロス)	87.6	196.1	38.0	33.2	81.7	43.3	29.0	-32.9%	-23.6%
その他部門等へのアロケーション	24.1	77.2	12.3	12.2	37.2	15.4	13.2	-14.2%	7.3%
インベストメント・バンキング(ネット)	63.5	118.9	25.7	20.9	44.5	27.8	15.8	-43.2%	-38.4%
その他	-69.9	12.2	-1.1	3.9	1.8	7.6	-3.6	-	-
収益合計(金融費用控除後)	-6.4	131.1	24.6	24.8	46.2	35.5	12.2	-65.6%	-50.5%
金融費用以外の費用	136.3	127.9	33.6	33.3	30.8	30.2	27.0	-10.7%	-19.7%
税前利益/損失	-142.7	3.2	-9.0	-8.5	15.4	5.2	-14.8	-	-

## ホールセール部門関連データ(2)

### プライベート・エクイティ関連投資残高



(1) 日本の残高は野村プリンシパル・ファイナンス(NPF)、野村フィナンシャル・パートナーズ(NFP)及び野村リサーチ・アンド・アドバイザー(NR&A)等の合計  
 (2) 欧州の残高(テラ・ファーマ除く)はPrivate Equity Group(PEG)及びNomura Phase4 Ventures(NPV)等の合計

## 人員数

	2006年3月末	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末	2010年6月末
日本(FA除く) <sup>1</sup>	9,618	10,667	11,561	12,929	12,857	13,370
FA社員 <sup>2</sup>	1,948	2,174	2,377	2,391	2,196	2,184
欧州	1,515	1,791	1,956	4,294	4,369	4,499
米州	1,073	1,322	1,063	1,079	1,781	1,941
アジア・オセアニア <sup>3</sup>	778	900	1,070	4,933	5,171	5,399
合計	14,932	16,854	18,026	25,626	26,374	27,393

- (1) プライベート・エクイティ投資先企業等の人員数は含まない  
(2) 2008年3月末までの人員数にはSA社員の人員数が含まれております。  
(3) インド(ボワイオフィス)を含む

注:2007年9月より、一部の有期雇用社員を人員数に含める事としました。これに伴い、人員数を過去に遡り組替えております。

**Nomura Holdings, Inc.**  
[www.nomura.com/jp/](http://www.nomura.com/jp/)